

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	4. 衛生費	事業名	2. 合併浄化槽普及促進費				
項	2. 清掃費	細事業名					
目	3. し尿処理費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	国庫支出金	県支出金						一般財源
要求額	25,732	47,065	要求	11,056	14,676						21,333
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 浄化槽法、水質汚濁防止法							
＜事業に関する説明＞										

<事業に関する説明>

(事業の説明) 設置事業補助金交付 70基 維持管理費補助金交付 1,000基	(事業の目的) 生活排水の水質改善により、印旛沼をはじめとする公共用水域等の水質汚濁防止及び生活環境の保全並びに公衆衛生の向上を図ること。	(事業の効果) 合併処理浄化槽を設置することにより、印旛沼の水質汚濁の主原因のひとつである生活排水の水質が改善される。また、適正な維持管理を行うことにより公共用水域等の水質汚濁防止を図る。
(事業実施上の問題点) 個人管理施設であるため、設置及び維持管理についての啓発活動が重要である。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	5. 交通安全施設整備事業		
項	1. 土木管理費	細事業名			
目	1. 土木総務費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	4,600	要求								4,600
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 交通安全、歩行者安全等に資するため、必要に応じ、街灯、道路反射鏡、警戒標識、ガードレール及び区画線等を整備するとともに、既設施設の維持管理に努める。 今回の計画終了後も引き続き補修工事を実施するものとする。	施 策								
		施策体系コード*				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 道路法、地方自治法、道路交通法								

<事業に関する説明>

(事業の説明) 道路通行の安全対策として、道路安全施設の整備を図る。	(事業の目的) 道路安全施設を整備することにより、交通事故対策及び安全な生活環境の維持を図る。	(事業の効果)
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	3. 舗装復旧工事業		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	2. 道路維持費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)		財源内訳	繰入金						一般財源
要求額	60,941	95,820		要求	60,941						34,879
決定額				決定							

実施計画の内容	市が管理する道路への水道管理設に伴う舗装復旧工事を道路法に基づき道路占用者に代わり実施し、経費の削減道路の安全な利用を供する。 今回の計画終了後も水道管理設工事に伴い、引き続き舗装復旧を実施するものとする。	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 道路法								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 市が管理する道路への水道管理設に伴う舗装復旧工事を道路法に基づき道路占用者に代わり実施し、経費の削減・道路の安全な利用を供する。	(事業の目的) 市道の占用工事に伴う舗装復旧工事を計画的に行うことにより、経費の削減や通行の安全確保に寄与する。	(事業の効果)
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	99. 道路改修事業				
項	2. 道路橋梁費	細事業名					
目	2. 道路維持費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)			

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	99,558	要求								99,558
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 市が管理する維持・補修について、通常の維持管理では対応できない 広範囲にわたる道路の破損等については大規模な補修工事を計画的に 実施し、安全な道路の利用に供する。	施 策										
		施策体系コード			事業番号							
		総事業費			事業期間							
		年度別事業費										
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 道路法、道路交通法										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 市が管理する道路で、通常の維持管理では対応できない道路の破損等について、大規模な補修工事を実施し、安全な利用に供する。	(事業の目的) 生活道路は、幅員の狭い道路も多く、交通量の増加に伴い、通行の安全性が損なわれたり、道路の破損が進むなどの問題が生じるため計画的に整備する。	(事業の効果)
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	2. 幹線道路整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課	(執行課: 道路建設課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)		財源内訳	国庫支出金	地方債					一般財源
要求額	61,200	142,941		要求	43,200	18,000					81,741
決定額				決定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) Ⅰ・Ⅱ級幹線及び幹線に準ずる市道の整備計画の立案・用地買収・工事を実施する。 (佐倉市幹線道路整備方針に基づき計画的に幹線市道等の拡幅改良や歩道整備努める。)	施 策								
		施策体系コード			事業番号					
		総事業費			事業期間					
		年度別事業費								
					(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令					

<事業に関する説明>

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 生谷 I -13号線 路線測量 臼井田 I -42号線 用地測量、用地購入、工作物補償、道路改良工事 井野 II -23号線 用地購入、歩道整備 岩富6-263号線 埋蔵文化財資料整理・報告書作成、地質調査	(事業の目的) 市道の内、I・II級幹線道路の拡幅改良等を行うことにより、都市計画道路を軸とした道路網を確立し、市民生活の安心、安全、快適性の向上をめざす。	(事業の効果) 道路拡幅や歩道整備による道路利用者の安全性向上、また、幹線道路網を整備することによる渋滞緩和や交通事故削減など、市民生活の安全性や快適性の向上さらには地域経済の活性化が図れる。
(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題である。 また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響出ている路線がある。	(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、事業の選択と集中を行い、効率的な施工方法を経済的に検討する。なお、路線全体ではなく部分改良などにより一定の効果が得られるような創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるように努める。	(見積についての特記事項) 市内の各地区を結ぶ道路は、幅員が狭く、各所で交通渋滞が発生していることから、交通渋滞の解消、安全性の確保、利便性の向上が求められている。このことから幹線道路等の整備は必要である。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	3. 私道整備助成費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	7,273	要求								7,273
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 市道以外の生活道路を整備するために設置された道路愛護組合に対し、私道の整備(舗装等)を支援するため、道路整備費等の一部を助成する。	施 策								
		施策体系コード			事業番号					
		総事業費			事業期間					
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞										
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市私道舗装等助成金交付規則								
		佐倉市私道移管事務に関する助成金交付規則								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) ・臼井台26組道路愛護組合 路線測量・実施設計業務委託 L=105m ・上志津2南B5道路愛護組合道路整備工事 L=150m	(事業の目的) 未整備や老朽化が著しい私道について、工事費等の一部を助成し、佐倉市が移管を受け適切な維持管理を行う。	(事業の効果) 市が道路を管理することにより、快適な生活環境が図られる。
(事業実施上の問題点) ・組合の都合で、事業が計画的に実施できず流動的である。 ・権利関係が複雑なことで専門知識が必要であり、移管事務に支障をきたしている。	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	4. 生活道路整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課	(執行課: 道路建設課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	3,924	要求								3,924
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 生活道路の整備計画の立案・用地買収・工事を実施する。 (地元要望等を基に計画的に生活道路の拡幅改良や歩道整備に努める。)	施 策									
		施策体系コード			事業番号						
		総事業費			事業期間						
		年度別事業費									
<事業に関する説明>		(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令 道路交通法									

<事業に関する説明>

(事業の説明) 太田4-280号線 用地測量等 L=70m 京成臼井駅周辺 側溝蓋設置 L=110m	(事業の目的) 老朽化した道路、破損の著しい道路等の改修整備を行うことにより、市民生活の安心、安全、快適性の向上を目指す。	(事業の効果) 道路拡幅等による通行機能の確保と市民生活の安全性や快適性の向上が図れる。
(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題である。また、地元要望により事業計画するが、要望が多く対応に苦慮する。	(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、効率的な施工方法を検討するとともに、部分的な改良でも一定の効果が得られるように創意工夫を行い、最小の経費で最大の効果が得られるように努める。	(見積についての特記事項) 地域住民等が安全で快適に移動できる空間を計画的に整備する。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	5. 井野・酒々井線道路改良費（市道Ⅰ－32号線）	課長	
項	2. 道路橋梁費	細事業名		副主幹	
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課（執行課： 道路建設課）	担当	
				連絡先	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位:千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	23,166	要求								23,166
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 市道7-26号線道路用地及び住吉神社代替地の調査した文化財を、整理し報告作成する。	施 策							
		施策体系コード			事業番号				
		総事業費			事業期間				
		年度別事業費							
			(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令						

<事業に関する説明>

<事業に関する説明>

(事業の説明) 文化財報告書作成 一式	(事業の目的) 都市計画道路3・4・5井野・酒々井線(市道Ⅰ－32号線)は、国道296号バイパスとして位置づけ、平成21年3月に全線開通(L=2,550m)する。また、関連事業の市道7－26号線(吉見工区)の道路拡幅整備も完了する。 尚、市道7－26号線道路代替地の調査した文化財を整理し報告書を作成する。	(事業の効果) 本路線は、臼井地区と佐倉地区の東西を結ぶ主要路線であり、通勤通学路の体を充実させるだけでなく、流通面や交通面を充実させ、社会経済活動の促進が図れる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	6. 馬渡・萩山線道路改良費(市道 I - 23号線)				
項	2. 道路橋梁費	細事業名					
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課	(執行課: 道路建設課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	4,650	要求								4,650
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) ルート変更に伴う計画決定の見直しと、小篠塚区間の用地買収を進める。	施 策								
		施策体系コード				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 予備設計 L=1,550m	(事業の目的) 市の主要幹線道路である馬渡萩山線を延伸整備することにより、市内の交通アクセスの向上を図り、市民生活の利便性、産業振興などが得られる。	(事業の効果) 市の南北幹線道路である馬渡・萩山線の延伸整備により、佐倉市内と国道51号アクセスの向上が図れる。
(事業実施上の問題点) 国の交付金事業として県との協議を進める。	(前年度からの見直し点) 道路境界未確定箇所立ち合いに応じていただけない地権者に概要説明した。	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	7. 市道Ⅰ－49号線(佐倉城下町通り)整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路建設課	(執行課： 道路建設課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位:千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	国庫支出金	地方債						一般財源
要求額	66,800	104,500	要求	38,500	28,300						37,700
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 旧国道296号(市道Ⅰ－49号線)について、市民の意見を反映させた、地域の特性生かした道路整備を実施する。	施策									
		施策体系コード		事業番号							
		総事業費				事業期間					
		年度別事業費									

＜事業に関する説明＞

(事業の説明) 新町地区 歩道整備 L=520m、 交通信号機整備 本町地区 歩道整備 L=150m	(事業の目的) 歩道のフラット化や無電柱化を実施することにより、歩行空間や良好な都市景観の形成を確保することにより社会的交通弱者等の安全性、快適性及び地域の活性化の向上を図る。	(事業の効果) 歩道のフラット化整備による歩行者等の通行機能を確保することにより、市民生活の安全性や快適性の向上が図れる。
(事業実施上の問題点) 旧城下町の道路であることから幅員(約7m)が狭い。また、官民境界が未確定な箇所が多いことに加え、道路整備による沿線商店への利害関係の発生が懸念される。	(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、効率的な施工方法を経済的に検討し、最小の経費で最大の効果が得られるように努める。	(見積についての特記事項) 平成14年度に千葉県から移管された路線であり、単なる道路改修ではなく、城下町としての歴史的背景や景観、地域住民の利便性の確保など、多様な角度から整備方針を検討し、事業を進める必要がある。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	8. 地域排水整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	3. 道路新設改良費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	29,000	要求								29,000
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 道路排水施設整備の総延長L=2,750m、路線数14路線を予定。	施 策								
		施策体系コード*					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
<事業に関する説明>		(事業実施に関する根拠法令) 道路法 佐倉市法定外公共物管理条例								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 排水整備工事延長 L=480m	(事業の目的) 公共下水道等の整備予定区域外の道路排水施設(道路側溝等)を整備することにより、道路の水害(冠水、路肩崩れ等)解消及び家庭排水(浄化槽排水)の流末確保を図る。	(事業の効果) 浄化槽排水の流末が確保され、地域の生活環境が向上すると共に、道路冠水の解消等の水害対策が図られる。
(事業実施上の問題点) 公共施設の区域(境界)が確定していない道路がある。 接続する流末が整備されていない場合がある。	(前年度からの見直し点) 特になし	(見積についての特記事項) 地域排水整備事業により道路排水施設を整備することで、市街化調整区域の世帯の浄化槽排水を、垂れ流すことなく排水路等へ導き処理することができ、生活環境改善を図ることができる。併せて道路冠水、道路法面の崩壊を防止する水害対策を図る事業である。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	1. 橋梁維持費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	4. 橋梁維持費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	国庫支出金							一般財源
要求額	13,750	26,050	要求	13,750							12,300
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 橋の長寿命化修繕計画策定に伴い、市が管理する道路橋梁について、適切な維持管理を行うとともに、耐震診断などの調査、工事等を実施し、安全、安心して利用できる橋梁とする。 今回の計画終了後も引き続き調査、工事等を実施するものとする。	施 策								
		施策体系コード*				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路交通法								

<事業に関する説明>

(事業の説明) 計画的な橋梁の維持管理を行う。	(事業の目的) 耐震に対する構造強化等を図る。	(事業の効果) 通行機能の確保と安全性の向上を図る。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	2. 排水路整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	5. 排水路整備費	担当課・係	道路管理課	(執行課: 道路管理課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)						
	(歳入)	(歳出)	財源内訳							一般財源
要求額	0	3,200	要求							3,200
決定額			決定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 排水路改修及び排水路整備の総延長L=3,191m、14路線を予定。	施 策								
		施策体系コード			事業番号					
		総事業費			事業期間					
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市法定外公共物管理条例							

<事業に関する説明>

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 排水路整備 用地購入費90㎡。	(事業の目的) 排水施設を整備、老朽化施設の改修を行うことにより、水害の解消を図る。	(事業の効果) 施設の新設・改修及び延命化が図られ、併せて水害対策が図られる。
(事業実施上の問題点) 昭和50年から平成初期に設置された施設の老朽化、破損が増加傾向にある。	(前年度からの見直し点) 特になし	(見積についての特記事項) 排水施設の機能向上のための新設・改修を進めること及び老朽化施設の改修をすることは、水害の防止の観点から市民の安全安心に直結する。

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	6. 調整池改修費				
項	2. 道路橋梁費	細事業名					
目	6. 河川費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)			

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	6,550	要求								6,550
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策									
		施策体系コード*				事業番号					
		総事業費				事業期間					
		年度別事業費									
										(事業実施に関する根拠法令)	

<事業に関する説明>

<事業に関する説明>

(事業の説明) 雨水の急激な流出を抑制するために設置された調整池の能力を維持するため、除草や清掃及び浚渫などを行う	(事業の目的) 施設の保守点検や草刈り等を実施することにより、調整池の機能を維持する。	(事業の効果) 貯留能力を確保することにより下流部の溢水を防止できるとともに除草等により施設の美化が出来る
(事業実施上の問題点) 多数の施設があるため維持管理計画を策定し年度間支出を平準化する必要がある	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 調整池周辺の居住者が増えるにつれて、除草や防虫等の要望が増えた

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	7. 調整池整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	6. 河川費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業								(単位: 千円)
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	536	要求								536
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令)								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 貯留施設(200リットル)設置補助金 10基 浸透施設(径300ミリ)設置補助金 4基／件×4件	(事業の目的) 河川への負担を軽減する。	(事業の効果) 雨水の流出抑制
(事業実施上の問題点) 浸透施設は、設置者個人のメリットがあまり見込めないため、申請件数が減少傾向にある。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	8. 勝田川(上志津原地区)改修事業		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	6. 河川費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	5,989	要求								5,989
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 河川法							
＜事業に関する説明＞										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 千葉市が実施する勝田川改修事業に対する平成23年度の負担金(負担率4.9%)	(事業の目的) 千葉市が実施する勝田川改修事業に対し流域の千葉市、四街道市、八千代市、佐倉市の4市が事業費を負担することで河川改修事業の促進を図る。	(事業の効果) 水害を防止し資産等を保全する。
(事業実施上の問題点) 協議会による事業計画延長は、6,780mと非常に長く長期事業となる。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	9. 南部川改修事業		
項	2. 道路橋梁費	細事業名			
目	6. 河川費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	5,460	要求								5,460
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 河川法第9条							
＜事業に関する説明＞										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 南部川底版工事 L=210m	(事業の目的) 老朽化が著しいことから、改修整備を行い流下能力を確保する	(事業の効果) 浸水被害の防止、軽減
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	99. 急傾斜地崩壊対策費				
項	2. 道路橋梁費	細事業名					
目	6. 河川費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)			

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	35,000	要求								35,000
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード*				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条第1項、第12条第1項								

<事業に関する説明>

(事業の説明) 急傾斜地崩壊防止対策事業に対する負担金 (山崎、角来2、岩名1、岩名2、羽鳥2、臼井台) がけ地崩壊防止事業補助金 1件	(事業の目的) 急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護する。	(事業の効果) 土砂災害を防止し、安全で住みよい住環境を確保する。
(事業実施上の問題点) 対策工事には膨大な事業費が必要となるため、事業が長期化する。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	2. 3・4・5井野・酒々井線外1路線道路改良費		課 長	
項	3. 都市計画費	細事業名			主 査	
目	3. 街路事業費	担当課・係	道路建設課（執行課： 道路建設課）		担 当	
					連 絡 先	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)
	(歳 入)	(歳 出)	財源内訳								一般財源
要 求 額	0	43,500	要 求								43,500
決 定 額			決 定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 井野南土地区画整理区域界から市道 I -3号線志津中学校脇まで、延長L=350mの道路整備を進める。	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								

< 事業に関する説明 >			(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令							
(事業の説明) 交差点改良 一式、用地購入 A=180㎡、補償補填 A=180㎡、 確定測量 一式、草刈委託 A=10,000㎡、実施設計 L=350m			(事業の目的) 市内を東西に結ぶ幹線道路であり、並行してある国道296号の慢性的交通渋滞の緩和を図る。				(事業の効果) 市内の幹線道路として交通渋滞の解消を図り、市内より八千代市へ結ぶ道路として、社会経済活動の促進及び通勤通学路の体系を充実させる。			
(事業実施上の問題点) 事業対象地内の、一部地権者の買収同意が得られていない。			(前年度からの見直し点)				(見積についての特記事項)			

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	4. 3・4・16太田・高岡線道路改良費			
項	3. 都市計画費	細事業名				
目	3. 街路事業費	担当課・係	道路建設課（執行課： 道路建設課）			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業							(単位: 千円)
	(歳 入)	(歳 出)	財源内訳	国庫支出金						一般財源
要 求 額	23,100	50,000	要 求	23,100						26,900
決 定 額			決 定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要) 平成23年度までに道路工事を完了させ供用開始を予定する。	施 策								
		施策体系コード				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
		(事業実施に関する根拠法令) 道路法 道路構造令								

<事業に関する説明>

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 道路改良工事 L=469m (車道部表層・基層舗装、歩道部舗装) 道路台帳作成 L=469m	(事業の目的) 本道路を整備することにより、工業団地と県道佐倉印西線との円滑な交通誘導、周辺道路の交通渋滞解消、既存住宅団地の利便性の向上を図るとともに、新たな団地の入居促進が見込まれる。	(事業の効果) 県道佐倉印西線を含め周辺道路の交通渋滞の緩和、周辺団地からJR佐倉・物部への通勤通学アクセスの向上効果が見込まれる。
(事業実施上の問題点) 国県道との道路ネットワークを考えた場合に、藤治台団地までの整備ではなく、国道296号バイパスまでの整備を検討する。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	1. 下水道事業特別会計への繰出経費		
項	3. 都市計画費	細事業名			
目	4. 下水道費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	564,794	要求								564,794
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード				事業番号				
		総事業費				事業期間				
		年度別事業費								
＜事業に関する説明＞		(事業実施に関する根拠法令) 地方財政法 下水道法								

<事業に関する説明>

(事業の説明) 税により負担すべき経費を支出	(事業の目的) 下水道事業の能率かつ健全な運営を確保するための下水道事業への繰出金	(事業の効果)
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	4. 都市下水路整備費		
項	3. 都市計画費	細事業名			
目	5. 都市排水費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位:千円)						
	(歳入)	(歳出)	財源内訳							一般財源
要求額	0	19,000	要求							19,000
決定額			決定							

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
			(事業実施に関する根拠法令) 下水道法第26条							

<事業に関する説明>

<事業に関する説明>

(事業の説明) 寺崎都市下水路改修工事 L=28m	(事業の目的) 老朽化した施設の改修や雨水による市街地の冠水等の被害を防止するため、寺崎都市下水路の改修を行い、市街地の治水安全度の向上を図る。	(事業の効果) 浸水被害の軽減
(事業実施上の問題点) 寺崎土地区画整理事業の進捗との整合を図る必要がある。	(前年度からの見直し点)	(見直しについての特記事項)

平成23年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	6. 都市排水路改修事業		
項	3. 都市計画費	細事業名			
目	5. 都市排水費	担当課・係	下水道課	(執行課: 下水道課)	

予算分析	臨時経費	新規事業	単独事業	(単位: 千円)							
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	諸収入							一般財源
要求額	20,000	29,500	要求	20,000							9,500
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策								
		施策体系コード*					事業番号			
		総事業費					事業期間			
		年度別事業費								
(事業実施に関する根拠法令)										

<事業に関する説明>

<事業に関する説明>

(事業の説明) ポンプ関連機器の維持管理	(事業の目的) 内水排除施設を常に正常作動させるため、維持管理を実施する	(事業の効果) 豪雨による異常出水に伴う低地への浸水被害を防止する
(事業実施上の問題点) ライフサイクルコストを勘案し計画的な維持管理が必要である	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 能力を確保することにより周辺区域の溢水を軽減できる